

# 西区の皆さま

いつもお世話になり ありがとうございます。  
ごさいます。

## 石井ひでたけ です！

石井ひでたけホームページ  
<http://www.ishiihidetake.com>

# みるみる通信

いも NEW

兵庫県議会議員  
石井ひでたけ県政報告  
vol. 21-9 2006年12月号  
まっすぐに ひたむきに  
県政へ 全力投球



発行元: 石井ひでたけ事務所



## 第289回定例県議会一般質問で登壇(11月30日)!



ホームページにアクセスして下さった皆さま、早いもので皆様方に県議会に送っていただきましてから、3年半が経過いたしました。この度、本年3月の平成18年度予算の賛成討論に引き続き、本会議場にて一般質問を行いました。今回は特に、一つの新交通機関を想定したなかで、3年半の議会活動の総括として主に西区内にある主要県有施設等を取り上げながら、7項目にわたり質問いたしました。質問の項目とそれに対する答弁要旨は以下の通りです。

(質問の全文については兵庫県議会のホームページで <http://www.hyogokengikai.jp/> でご覧になれます。また、インターネット中継で当日の質問風景もご覧になれます。私のホームページの関連リンク集「兵庫県議会ホームページ」をクリックし、さらに議会中継をクリックすると11月30日の本会議一般質問の2番手で登壇しています。(44分))

これからも公式の場等で皆様方の声をしっかりと県政に届けてまいります。年の瀬にあたり、来る2007年が皆様方にとりまして幸多き年となりますようご祈念申し上げます。今年も一年、大変お世話になり、ありがとうございました！来年も全力で頑張ります！！

～もっと身近に県政を～

### 1 明石川の自然環境の維持管理について

Q.河川改修がほぼ終了している明石川の自然環境の維持管理について今後どのように取り組むのか

A.県としましては、平成8年に策定いたしました“ひょうご・人と自然の川づくり”の基本理念に基づいて、治水を基本としながらも、生態系や親水性、水文化に配慮した河川整備に取り組んでまいります。明石川においても、概ね30年確率の治水安全度を確保しつつ、魚道や飛び石の設置などにより人と自然が共生する川づくりを進めています。また、平成15年度からは、地域の方々や沿川の小学校と協働して「明石川自然体験楽校(がっこう)」や「子ども環境会議」を開催して、環境学習や川と親しむ機会づくりに努めています。こうした取り組みにより、地域の方々主体による川まつりやアドプトプログラムによる4団体の美化活動が行われるなど、川への関心と愛護意識が高まり、地域住民による参画と協働の諸活動が根付きつつあります。今年度からはホテルの生育場所の確保や幼虫の放流など地域の方々の発案によるホテルの里づくりも始められ、県としても情報提供や意見交流の場を設けるなど、地域の方々の河川愛護活動や明石川を舞台とした地域交流を支援しています。今後とも、明石川をはじめ都市河川について、その河川の状況に応じて地域の方々の自主的な活動と連携して、人と自然がふれあい、また環境学習のフィールドとしても活用するなどを通じて人と人が交流する地域のくらしと調和した河川環境をつくるよう努めます。(知事答弁)



明石川のキャラクター「タコビー」

### 2 兵庫楽農生活センターを拠点とした魅力ある地域づくりについて

Q.去る11月11日に開園した兵庫楽農生活センターを拠点とし、周辺施設等とも連携した楽農生活が実践できる魅力ある地域づくりにどのように取り組むのか

A.このセンターの周辺には、市民農園、観光農園など「農」を生かした取組がなされていますし、神出神社等の史跡も多い地域であります。このため、楽農生活センターを核としながら、センターでの農業研修と民間の市民農園との連携など周辺施設の相互連携が、地域における楽農生活の幅広い展開にとって不可欠であると考えます。

したがって、事業運営に当たりましては、JA、神戸市や地元自治会等を含めた連絡会議におきまして、近隣観光農園等と共同で実施する収穫祭の開催ですとか、周辺施設と共通のPRマップの作成ですとか、周辺の史跡や農業施設を巡るウォーキングの開催ですとか、センターと周辺施設との連携を強化する各種取組を検討してまいります。

このような地域と一体となった取組を行うことにより、センターの楽農生活の拠点としての機能強化を図りますとともに、魅力ある楽農生活を実践するモデル地域となるように努めます。(知事答弁)



## ～ほっとひと息～ 雪彦マラソン・六甲全山縦走大会に参加

朝の駅頭等での挨拶も今月で7年目を迎えました。例年より11月までは暖かい日が続いていたので、体も暖かさに慣れていたせいとか、最近の冷え込みで、早朝よりの街頭活動はその寒さにめげそうになりますが、初心忘れることなく、自分自身の姿勢をしっかりと皆様方に見ていただくようにこれからも継続してまいります。さて、プラベートでは、先月12日に姫路の雪彦マラソンに参加しました。ハーフマラソンは今年の芦屋国際ハーフランに引き続き2回目の挑戦となりましたが、制限時間ぎりぎりの2時間27分でなんとかゴールしました。タイムよりも紅葉の播州路を気持ちよく走れたことに満足しています。また、23日には六甲全山縦走大会(56キロ)に参加(3回目)し、仲間と無事完走しました。このように晩秋のひと時、スポーツに大いに興じながら体と精神を鍛えています。(そのわりには痩せませんが・・・)

\*年の瀬を迎えるにあたり、なにかと外出する機会が多くなりますが、空き巣や泥棒が多発する時期です。家の戸締り等には十分気をつけてください。

### 3 神戸市営地下鉄西神中央駅からまずは明石市への新たな交通機関の導入について

Q.地下鉄を延伸するにはかなりのコストがかかるが、次世代型のLRT等の路面電車の導入を考えてはどうか

A.現状では、LRTにしても、その導入可能な道路が見当たらない。路面電車の新型ですので、そのような意味で導入可能な道路がなかなか見あたらない状況にある。私どもとしましては、高齢化社会や地球環境問題に対応した公共交通優先の交通体系の構築が、今後必要であると考えている。引き続き明石市や神戸市とともに、まちづくりと一体となった導入空間の確保方策や、採算性の見直しなどについて、中長期的な視点から検討し、LRTなどの新たな交通機関の導入の可能性を探っていききたい。(知事答弁)



### 4 総合リハビリテーションセンターについて

Q.現状を踏まえ、総合リハビリテーションセンターの機能の充実強化等に今後どのように取り組むのか

A.総合リハビリテーションセンターは、障害者の早期の自立と社会づくりに向けて、治療から就労へ、医療リハ、生活リハ、職業リハを一貫して支援する、高度で専門的な全県拠点施設として整備し、多くの県民のリハビリの拠点となっている。

ご指摘の ①西播磨総合リハとの機能分担については、中央病院はリハビリ全般に対応する一方、西播磨においては特に神経疾患や高次脳機能障害等に力点を置いた取組を行うとともに、自然を生かした園芸療法等にも力を入れている。②授産科目の見直しについては、パソコンの基本操作や応用技術の習得など、利用者ニーズを踏まえて新たな科目の設定を現在検討している。また、③老朽化が進むとご指摘されている施設の整備は、今後の課題であると考えており、社会福祉事業団とともに検討を進めていききたいと考えている。さらに、現在、子どもから成人まで継続して総合的なリハが提供できるよう、のじぎく療育センターの機能の総合リハへの移転検討を進めている。今後とも総合リハビリテーションセンターにふさわしい整備に努めてまいります。(知事答弁)



### 5 成人病センターの機能の充実強化について

Q.成人病センターについてはがん対策の全県拠点病院として特に重要な役割を担っていくべきと考えるがその機能の充実強化について

A.県下のがん治療の中核的役割を担う成人病センターでは、手術、抗がん剤の投与、放射線の照射などの各療法による、より高度な集学的治療を提供するため、がん以外の生活習慣病等にかかる機能については、新しく整備する加古川病院へ移管することとし、成人病センターでは「がん診療への純化・高度化」を進めてきている。

今後は、近く指定が見込まれる全県の「がん診療連携拠点病院」として、がん診療機能の向上と医療機関等との連携の強化、相談支援機能の充実等に取り組む、兵庫のがん医療水準の一層の向上に貢献してまいりたいと考えている。(病院事業管理者答弁)



### 6 兵庫県立大学について

Q.地域に開かれた大学として、開学から3年が経過しつつある兵庫県立大学のこれまでの成果と課題をどのように認識し、今後どのように取り組むのか

A.地域連携分野においては、まちづくりや子育て支援活動などに一役を買っている。更に教員による県民向け公開講座、或いは各種セミナー、フォーラム、こういったことで生涯学習の展開をも意を持っている。本年度、現中期計画の最終年度を迎えていますので、外部委員からなる評価委員会を設置し、大学としての自己点検をもとに、中期計画の実績或いは課題、こういったことの総合検証を行っていただき、次期中期計画の策定に反映させていきたい。

今後とも、総合大学としての力の発揮に努め、高い専門能力と幅広い教養、そして豊かな人間性を備えた人材の育成を通じて、社会に役立つ大学をめざしていききたい。(理事答弁)



### 7 神戸西警察署管内の治安維持等について

Q.急増する人口や事件事故の取り扱い増加等に伴う神戸西署警察管内の治安維持等に向け、本署の施設整備と隣接する警察署との連携強化、管内の交番、駐在所の再編整備と機動力の向上等にどのように取り組むのか

神戸西警察署については、例えば平成8年からの過去10年でみると、県下の他の警察署と比べて、刑法犯の認知件数は、県下平均の約2倍の伸び、人身交通事故の発生件数は、約4.2倍の伸び、110番受理件数は、約1.3倍の伸びと、極めて繁忙な警察署となっており、このため、過去10年間では、警察官114名の増員、交番を1箇所新設、パトカー3台の増設と、また、交番への前進配置の運用等、体制、機動力の強化を図って来ており、今後とも的確な警察活動が推進できるよう検討する。

一方、庁舎については、増員に伴い、手狭となったことから、平成8年と平成16年の二度にわたり、増設を行ってきたが、なにも数回にわたる増員、人員の再配置を経た現在、県下全体で、警察業務に必要なスペースの確保という観点から、検討を進めてまいりたい。隣接警察署間の連携については、日常的にパトカーによる相互の地域の警戒の実施や犯罪が発生した場合などには、本部通信指令課による連携活動の指示の下、的確な初動対応を図っている。

警察としては、今後も神戸西警察署管内を始めまして、県下各地域における治安情勢の変化を的確に把握し、警戒力の向上や、住民の方々の利便性等を考慮しながら県民の安全と安心の確保に取り組む。(警察本部長答弁)



プロフィール

石井 秀武 (いしい ひでたけ)

昭和41年4月15日生まれ B型 西区学園西町在住  
白陵中・高、神戸商科大学卒、サラリーマン生活を経て、  
阪神・淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書  
平成11年、西区より県議選に出馬するも惜敗  
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選

現在 兵庫県議会議員(1期目) 農林水産常任委員会委員  
交通安全対策委員会委員 民主党兵庫県連常任幹事  
民主党兵庫第4区総支部幹事長 兵庫民社常任幹事  
兵庫県宅地建物取引業協会会員 明石青年会議所会員  
明石市柔道協会理事 兵庫県自転車競技連盟顧問  
全国介護者支援協会理事(兵庫県支部長)  
社会福祉法人相談役 他

石井ひでたけ事務所

〒651-2133

神戸市西区枝吉1丁目215番地

E-mail: [voice@ishiihidetake.com](mailto:voice@ishiihidetake.com)

TEL / 078-920-2200

FAX / 078-920-2211

県政のご相談・お問い合わせは  
事務所まで。必ずご氏名・ご連絡  
先をお知らせください。

どんどん  
ご意見・ご要望を  
お寄せ下さい。

